



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 福井コンピュータホールディングス株式会社

コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 治克

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 橋本 彰 TEL 0776-53-9200

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	8,408	2.4	3,112	10.9	3,146	10.9	2,210	20.5
2018年3月期第3四半期	8,210	13.0	2,806	24.1	2,838	24.1	1,834	26.1

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,877百万円 (△2.6%) 2018年3月期第3四半期 1,927百万円 (52.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	106.92	—
2018年3月期第3四半期	79.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	14,147	9,976	70.5
2018年3月期	13,628	8,760	64.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 9,976百万円 2018年3月期 8,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期（予想）				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,080	1.6	3,710	0.6	3,740	0.2	2,430	0.3	117.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	20,700,000株	2018年3月期	23,000,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	24,437株	2018年3月期	2,324,333株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	20,675,623株	2018年3月期3Q	22,975,704株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び連結子会社）における当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高8,408百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益3,112百万円（前年同期比10.9%増）、経常利益3,146百万円（前年同期比10.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,210百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①建築CAD事業

当第3四半期連結累計期間の建築CAD事業は、売上高4,125百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は1,224百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間は、新設住宅着工戸数の前年同期比減少などの外部環境の影響もあり、前年同期比でやや減収ペースで推移しております。第3四半期連結会計期間ベースでは、IT導入補助金制度や政府主導によるZEH政策等が当社製品導入の後押しとなり、建築CADソフトウェアの売上は大きく伸長し、前年度の同期間と比べ、増収増益となっております。

また、10月には「GLOBE2019」をリリースしました。3D点群データとの合成をいち早く装着し、国土交通省が推進するBIM/CIM連携に対応しております。また、国産の強みを生かしBIM確認申請機能を新たに追加する等、商品ラインナップ拡充の取り組みも行っております。

②測量土木CAD事業

第3四半期連結累計期間における測量土木CAD事業の売上高は4,283百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は1,801百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

引続き、i-Constructionにかかわる「急速に変化する3次元化への対応」の需要は高く、当社製品の売上也堅調に推移しております。特に、測量分野での新規並びにシステムチェンジの需要、点群処理システムの測量・土木ユーザーでの追加需要が伸長しました。

IT導入補助金制度の後押しもあり、前年同期比で増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、14,147百万円となり、前連結会計年度末より518百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加、投資有価証券の減少によるものであります。

負債合計は4,171百万円となり、前連結会計年度末より697百万円減少しました。主な要因は、未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は9,976百万円となり、前連結会計年度末より1,215百万円増加しました。これに伴い、自己資本比率は70.5%となっております。なお、2018年9月28日に自己株式の消却5,349百万円を実施しております。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,269	7,248
受取手形及び売掛金	1,620	1,715
商品及び製品	11	13
仕掛品	6	59
原材料及び貯蔵品	8	6
その他	515	532
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	8,425	9,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,340	1,296
土地	1,085	1,085
その他（純額）	87	82
有形固定資産合計	2,513	2,464
無形固定資産	51	76
投資その他の資産		
投資有価証券	1,858	1,420
繰延税金資産	386	284
その他	402	338
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	2,638	2,036
固定資産合計	5,203	4,576
資産合計	13,628	14,147

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39	30
未払法人税等	706	224
前受金	2,111	2,322
賞与引当金	395	224
役員賞与引当金	56	41
その他	1,253	1,162
流動負債合計	4,563	4,005
固定負債		
繰延税金負債	305	166
固定負債合計	305	166
負債合計	4,868	4,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,095	1,500
利益剰余金	9,593	6,388
自己株式	△5,408	△58
株主資本合計	7,912	9,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	847	514
その他の包括利益累計額合計	847	514
純資産合計	8,760	9,976
負債純資産合計	13,628	14,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	8,210	8,408
売上原価	1,715	1,620
売上総利益	6,495	6,787
販売費及び一般管理費	3,688	3,674
営業利益	2,806	3,112
営業外収益		
受取配当金	20	18
受取手数料	6	6
その他	5	9
営業外収益合計	31	34
経常利益	2,838	3,146
税金等調整前四半期純利益	2,838	3,146
法人税、住民税及び事業税	853	827
法人税等調整額	150	108
法人税等合計	1,004	936
四半期純利益	1,834	2,210
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,834	2,210

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,834	2,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93	△332
その他の包括利益合計	93	△332
四半期包括利益	1,927	1,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,927	1,877
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年9月21日開催の取締役会決議に基づき、2018年9月28日付で、自己株式2,300,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が595百万円、利益剰余金4,754百万円及び自己株式が5,349百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,500百万円、利益剰余金が6,388百万円、自己株式が58百万円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,226	3,984	8,210	—	8,210
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,226	3,984	8,210	—	8,210
セグメント利益	1,154	1,680	2,834	△28	2,806

(注) 1. セグメント利益の調整額△28百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,125	4,283	8,408	—	8,408
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,125	4,283	8,408	—	8,408
セグメント利益	1,224	1,801	3,025	86	3,112

(注) 1. セグメント利益の調整額86百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。